

Human Communication
この人に聞く
vol.134

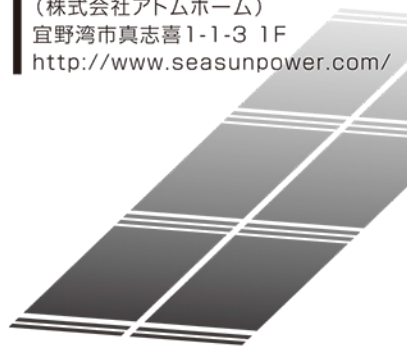
太陽光発電ベンチャーSeasun社が日本支社設立 アトムホームと連携し地域密着型のサービスを推進

世界規模で太陽光パネルの製造・販売を手がける「Seasun（シーサン）社」（本社・中国江蘇省）が7月初旬、県内で太陽光発電事業を展開する「株式会社アトムホーム」（宜野湾市真志喜）と連携し、国内初の拠点となる日本支社を立ち上げました。設立に至る経緯や今後の展望について、同社のCai Sheng（ツァイシェン）社長に話を聞きました。



Seasun社のCai Sheng社長（右）

Seasun New Energy社
日本支社連絡先
電話098-988-1064
（株式会社アトムホーム）
宜野湾市真志喜1-1-3 1F
<http://www.seasunpower.com/>



このようにSeasunとアトムホームの間には、これまでの事業を通じて培われた強い信頼の絆があります。

支社設立後の構想はありますか

まずは現地に拠点ができ、たことの利点を生かし、地元の方々との意見や要求をくまなく収集し、迅速に対応できるきめ細かなサポート体制を整えることです。開発・販売・施工・保守管理のすべての工程にそれを反映させ、台風や塩害に強いのはもちろんのこと、より多くのニーズにフィットした事業展開を進めていきます。

Seasun社のプロフィールを教えてください

私たちSeasun社は、屋根や屋上に設置するソーラーパネルを中心に、街灯、電子機器などさまざまなタイプの太陽光発電システムを製造・販売する中国のベンチャー企業です。中国国内の優秀なエンジニアが集まり、江蘇省常州市で2007年に会社を立ち上げました。現在はアメリカ、オーストラリア、ミャンマーに支社があり、沖縄への拠点設置は中国本社を含めると5カ国目になります。

製造している太陽光パネルは、主に単結晶シリコンと多結晶シリコンです。本社工場では品質マネジメントの国際規格ISO9000

1を取得しているほか、ドイツのTUF、アメリカのULなど各国の技術・安全面における製品認証も受けています。

またミャンマーでは09年から、支社を設けるとともに社会貢献活動が続いています。インフラが整わず電気がまだ通っていない町や村、学校などの施設が依然多いため、私たちの太陽光発電システムを寄贈してきました。

沖縄進出の経緯は

アメリカ、ヨーロッパ、オセアニアとグローバル展開を進めていく中で、日本ではアトムホームといち早く協力体制をとり、販売総代理店として沖縄県内での普及を進めてきてもらいま

した。戸建て住宅、アパート、商業ビル、遊休地、区画分譲など、物件の種類や規模を問わず多数の施工実績があります。

私たちが製造しているソーラーパネルや関連部品は、沖縄の気候風土を考慮して、十分な耐風性と防さび性を備えています。そしてアトムホームでは多くの技術者が、さまざまな設置条件に合わせたプランニングを得意としており、施工後も万全のメンテナンス体制を敷いています。今まで設置してきたシステムがすべて順調に稼働していることは、私たちのビジネススタイルが正しかったことを表しています。昨年の大型台風が直撃したときも、目立った被害はありませんでした。

そして沖縄での事業を軌道に乗せたあとは、同じ蒸暑地域である東南アジアへの進出も計画しています。そのときもよきパートナーとして一緒に協力していきたいよう、今回の日本支社設立を機にアトムホームとの連携を深化させていきたいと考えています。